

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、「東温市における生活習慣病、動脈硬化性疾患、ならびに抗加齢に関する遺伝疫学研究（承認番号 29-K3）（以下東温ゲノムスタディ）」および「糖尿病関連遺伝子の解明（承認番号 27-K6）」に参加した際に同意を得て保管されている試料・データを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、保管されている試料・データを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 HLA 遺伝子型などによる糖尿病の新分類の試みおよび糖尿病発症に関する前向き観察研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院糖尿病内科学講座

【研究責任者】 大澤春彦（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 教授）

【研究代表者】 大澤春彦（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 教授）

【研究の目的】

過去に東温ゲノムスタディおよび「糖尿病関連遺伝子の解明」に参加された方の保管されている血液を使用して、遺伝子や超高感度酵素免疫測定法により膵島関連自己抗体などを測定し、この新しい検査方法で正確な糖尿病の病型診断を行う事を研究目的としています。これを明らかにすることにより、今後、糖尿病の早期発見や糖尿病患者さんの正確な病型診断による適切な治療法の選択につながると考えています。

【研究の方法】

2009年5月から2019年10月までに東温ゲノムスタディおよび「糖尿病関連遺伝子の解明」に参加された患者さんのうち、同意書を頂いて採血をした患者さん。

（利用する情報）性別、年齢、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、遺伝子データ、治療状況 など

（利用する試料）保存血液、DNA

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っていますが、今回使用する試料・データは匿名化され用いられます。また、保存血液は1) 愛媛大学医学部糖尿病内科において腓島関連自己抗体などを測定、2) 湧永製薬にてヒト白血球型抗原の型を検査します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前など個人を特定できる情報を除いて匿名化いたします。従って個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

高田康徳（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 准教授）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

大澤春彦（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 教授）

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5647